

第33号

NPO 法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク  
Newsletter 2024（令和6）年4月8日 発行

# のばす会・ネットワーク便り

本部事務局 〒475-0817 愛知県半田市東洋町1-8 アイプラザ半田109, 110号室

☎ 080-1622-5717

代表理事 伊藤 敦

✉ E-mail nobasukai1993@gmail.com

🌐 web http://www.f-school.jp/nobasukai



## 30周年記念講演会を終えて

スタッフ 村瀬明子

2023年、のばす会は30周年を迎えることができました。30年と言いますと、今の中学生なら、まだ生まれていないわけです。その保護者達が中学生だったころから、のばす会は活動をしていたことになります。今回の講演会は、活動の中心となってきた元ののばす会代表の伊藤八千穂氏の話を通して、のばす会の歴史、目指してきたこと、そして、子ども

達の思いを出来るだけ多くの方に知っていただきたいと思い企画しました。

講演の中で、八千穂氏が、子ども達や親さん達の気持ちを受け止め、共に涙したことが語られました。どこにも行き場がないと追い詰められていた子ども達に、「あなたは、悪くないよ。ここにいていいんだよ。」との思いから、のばす会が発足したことを知りました。そして、その子ども達をスタッフだけではなく、実に多くの大人たちが助けてくれました。不登校の子どもという特別な目で見るとはならず、今、目の前にいる一人の人間として見てくれました。物心両面にわたっての援助は、今日に至るまで、のばす会の活動を支えてくれています。

参加者のアンケートから、「30年も活動してきたことに感謝。」「親の気持ちを聞いてくれる場所があったことで救われた。」等の感想をいただきました。講演会を終えて、「子ども達の成長は一人一人が違う」「子供の成長を信じて待つために」居場所“作りが大切なのではないか」と示されました。



### 八千穂 の窓

## 繋がりは今もまたこれからも

今年の文化祭に、「30周年を記念してのお話」という要請を受けました。体調にやや不安が残りましたが、幸い無事に終了することが出来ました。しかし、語り尽くせなかった何かが残し、今も心残りです。

当日私の話の後、辛かった日を思い出し、溢れる気持ちを抑えきれず、涙に連れながらお話された方もみえました。

のばす会における数多くの出会いを通し、私は親御さんから、子どもさんから実に多くのことを学ばせて頂きました。今は感謝の気持ちで一杯です。

出会いと学び、その多くの繋がりは今後とも続いて行くことを信じます。私も高齢期に入りました。若い方々にバトンが渡してあります。どうか多くの方々が、そのバトンを繋いで行かれることを心から願っています。

## フリースクールは今

スタッフ 異 幸代

いつの頃からか、午前中ののぼす会は小学生が一人二人でちょっと寂しい毎日です。「子どもがいないよね」そんなつぶやきが聞こえてきました。スタッフがトランプをしても、今ひとつ盛り上がり欠ける。ところが午後になると中学生がやってきて、中庭を駆け回ったり、池の中を棒で突っついてみたり、何かしらガサゴソと動き回る。時々本を読んだり、ゲームをしたり、勉強をする子もいる。ランチの日には準備の段階では子どもは少なくても、後からどんどんやって来て、作った料理を完食し、成長期の中学生だと実感します。例年二学期を迎えるころになると、三年生が受験に向けて本気になっていく姿に出会う。今年もまた三年生は黙々と勉強に取り組み、スタッフがもう少し肩の力を抜いていいのと思うほどに毎日頑張っていました。周りで友人と遊びに夢中になっている後輩たちにもその姿はしっかり刻まれているはず。春からは高校生です。



## 冬休み寺子屋

スタッフ 伊藤里香

今回、初めてさくら小学校へ寺子屋の案内をしたところ 3 名の申し込みがあり、合わせて小中高生 14 名が参加しました。さくら小学校から新たに参加してくれたことで、子ども達の遊びや関わり方に良い刺激と変化があり、毎回寺子屋に参加している中学生が、はじめて参加する小学生と一緒に遊ぶ様子を見ることができました。3 日間の活動内容をご紹介します。25 日のクリスマスは、スポンジ生地をカットして、フルーツや生クリームをトッピングしたカップケーキ作りをしました。低学年の子ども達が、率先してフルーツをカットしてくれました。26 日は、コマ回しや羽子板、福笑いといった冬の遊びをしました。初めて経験する子ども達も楽しく遊んでいました。27 日の最終日は、日本福祉大学の江村和彦先生と学生さんが、クリアファイルを使った羽を型取って、組み合わせた風車を子ども達と一緒に作って遊んでくれました。子ども達は、風車の羽を増やしたり、羽の組み合わせ方を変えることで、羽の動く向きを変えたりして、色々な違いを楽しみながら夢中になって作っていました。

## 人は、心の中に色々な人のイメージをもっているから生きていける

臨床心理士 米村 高穂

人は、生まれてから養育者と様々な交流をたくさんしています。それを少し紹介してみましょう。赤ちゃんは、不快感を感じると泣いて養育者を求め、養育者はおむつをかえたり、抱っこをしたりして安心できるように応えます。生後 3 ヶ月頃では、赤ちゃんは微笑むようになって養育者と感情の交流を始め、生後 5 ヶ月頃になると、人見知りをし始め、重要な存在である養育者とそうでない人を見分けられるようになっていきます。1 歳前後にはハイハイや歩き始め、色々なことを知ようになっていきますが、まだまだ不安も大きく、養育者を「安全基地」として出かけては戻ってを繰り返していきます。この時点で、子どもは養育者が目の前からいなくなってしまうと、本当にいなくなってしまうのではないかと不安になります。しかし、このようなプロセスの中で、養育者は子どもの不安を受けとめることで、子どもの心の中に「養育者のイメージ」が「内在化」されていきます。そうすることで、3、4 歳頃になると養育者が目の前から見えなくなっても大丈夫でいられるようになっていくのです。しかし、これはあくまで目安です。たとえ中学生であっても、養育者のイメージが十分に内在化されていないこともあります（養育者の育て方が原因とは必ずしも言えませんので、誤解のないようにお願いします）。子どもの発達には個人差があるので、慌てないことが何より大切です。そのような時に、養育者と無理に引き離すことは逆効果になることもあります（いわゆる分離不安）。このような場合、学校でも集団に入るのが難しければ、まずは信頼できる先生との一対一の関係から始めて徐々に慣らし、家が「安全基地」となるような配慮も大切でしょう。子どもが養育者イメージを内在化し、そこから多くの人との関係の中からイメージを内在化させていくことは将来の支えとなるでしょう。私たち大人も、自分の養育者だけでなく、多くの人のイメージを心の中にもっているから、困難があっても生きていけるのではないのでしょうか。

## 🌸 ご卒業・修了 おめでとう

代表理事 伊藤 敦

この度、卒業・修了式を迎えられた卒業生、修了生のみなさん、「御卒業・修了おめでとうございます。」ご本人はじめ、親御さんやご家族の方々に対して、心からのお祝いの言葉を添えたいと思います。本日を迎えるまでの、親御さんのご苦労を思います。本当にご苦労様でした。

卒業生のみなさんには、今後進学等を通して新たなステージを迎えることとなりますが、のばす会で学び経験したことが、新しい環境の中で生かされて行かれることを心から念じます。修了生の方々には、晴れの卒業式を目指し今後ともこののばす会で、有意義な毎日を送られることを願っています。

安心できる居場所である、のばす会での学習やリクレーション、卓球などの運動、友人との交流などの経験が、一人一人の自立に役立つことを心から願っています。



## 🌸 安心できたのばす会

中学卒業生

私は中学校生活を楽しみにしていましたが、1年生の時に先生といろいろあり、学校に行くことが怖くなりいけなくなりました。その時ののばす会を知り、行くことになりました。のばす会では勉強や遊びに付き合ってくれたりして、うれしかったです。先生とは違い自分の気持ちに寄り添ってくれて安心して通うことができました。1年間本当にありがとうございました。

## 🌸 先生たちへ

中学卒業生 心花

みんなと卓球やバドミントンなどができ、学校でバドミントンをしたときに上手と言われて、のばす会で練習してよかったなと思いました。高校生になってもたまに来るのでこれからもよろしくお願いします。



## 🌸 楽しかった

小学卒業生 響丸

のばす会で勉強とかトランプとか友達とかが出来てうれしかったし、楽しかったです。みんなに会えてよかったです。

## 🌸 卒業

保護者 山田 梨花

息子が不登校になったのは、小学2年からです。小学1年の3学期から行き渋りが始まり、小学2年生には完全に行けなくなっていました。市の適応指導教室に見学に行くも、息子が嫌がり、色々息子のためになる環境を探しているのばす会に出会いました。

初めは相談に行き、体験させていただいて、のばす会のお世話になったのは小学3年生からです。初めは行きたくないと言っていた子が、今では楽しそうに行く姿を見て、のばす会に出会えたことがよかったなと思います。のばす会の先生方やスタッフの皆さんには、息子だけではなく、親の私まで気にかけて声をかけてくださり感謝しかないです。息子が「僕はのばす会にいることを誇りに思ってる。ここがぼくの居場所なんだ。」と言いました。前向きに色々挑戦していく姿に成長を感じます。他人のことを思いやる優しい子に成長しました。のばす会の先生方やスタッフの皆さんが暖かく見守り、寄り添ってくれたおかげです。ありがとうございました。これから中学に進学します。これからも先、辛いこと、楽しいことがあると思います。でも前向きに挑戦して行ってほしいと思います。

### 映画「ゆめパのじかん」自主上映会のご案内（のばす会親の会主催）

誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、子どもたちのかけがえのない“じかん”を描いた珠玉のドキュメンタリー映画です。

日時・場所： 6月8日（土）アイプラザ半田小ホール 14時 開場 14時30分上演

費用：800円 前売り券のみ、先着順80名です。未就学児はご遠慮ください。

連絡先： E-mail：ohyanokai@gmail.com TEL：080-1622-5717（のばす会）

## アニマルセラピーとウイングセラピー



のぼす会では犬や猫のアニマルセラピーと鷹やフクロウによるウイングセラピーを開催しています。今回ウイングセラピーを2月1日(木)14時からアイプラザ半田中庭で実施しました。御鷹組代表中井雄二さんと佐藤康彦さんのご指導の下、鷹が3匹にフクロウが1匹で、参加者の左腕に鷹やフクロウを止まらせて餌やりをしました。参加者はこの日だけに参加した保護者の方や子どもさんたち41名で、我も我もと餌やりに参加しました。精悍な顔つきをまじかに見て、羽にじかに触れさせてもらって生き物のぬくもりを感じました。鷹は空に離して笛の合図で参加者の腕に舞い降りてきました。参加者にとっては貴重な体験だったと思います。鷹が空を舞うと、カラスが仲間を連れてきたり、トンビが様子を見に来たりして警戒している様子も観察できました。来年度のアニマルセラピーは毎月第2木曜日に、ウイングセラピーは11月と2月の予定です。

のぼす会では犬や猫のアニマルセラピーと鷹やフクロウによるウイングセラピーを開催しています。今回ウイングセラピーを2月1日(木)14時からアイプラザ半田中庭で実施しました。御鷹組代表中井雄二さんと佐藤康彦さんのご指導の下、鷹が3匹にフクロウが1匹で、参加者の左腕に鷹やフクロウを止まらせて餌やりをしました。参加者はこの日だけに参加した保護者の方や子どもさんたち41名で、我も我もと餌やりに参加しました。精悍な顔つきをまじかに見て、羽にじかに触れさせてもらって生き物のぬくもりを感じました。鷹は空に離して笛の合図で参加者の腕に舞い降りてきました。参加者にとっては貴重な体験だったと思います。鷹が空を舞うと、カラスが仲間を連れてきたり、トンビが様子を見に来たりして警戒している様子も観察できました。来年度のアニマルセラピーは毎月第2木曜日に、ウイングセラピーは11月と2月の予定です。

## 総会のご案内

のぼす会の総会を5月11日(土)13時からアイプラザ半田2階研修室で行います。会員の皆様には後日ご案内を郵送させていただきます。ご参加できない場合は委任状をご提出ください。総会での事業報告や活動計算書などの決議内容は6月に日本財団のCANPANのホームページに掲載予定ですので、ご覧ください。

### 今後の予定と活動

のぼす会の始業 4月9日(火)  
総会 5月11日(土)13時から アイプラザ半田 2階研修室  
映画「ゆめパのじかん」自主上映会 6月8日(土)アイプラザ半田 2階小ホール 14時30分上演

**ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へとつながります。**

**<寄付者の皆さま>** 令和5年8月～(掲載可の方々です) 順不同 敬称略

加藤浩康、二川義峰、村上眞喜子、榊原友恵、加藤正三郎、稲垣豊、石川まさ恵、黒木伊津子、黒瀬育子、山本住代、山田ゆき、清澤雅章、山内睦代、足立香織、鈴木知代、松岡登久子、由里宗之、大橋晴美、小出由里子、竹内二三、キシモトリツ、(株)ウイダー、(有)オザキ自動車

**<多額寄付の皆様>** 笹井孝介、石黒雄大、J A あいち知多女性部半田地域

**<ろうきん寄付システムの皆様>** 令和6年3月末まで \*毎月のご寄付ありがとうございます。

**<物品の寄付>** \*ポケモンカード2箱、文具、洗剤、多数のバームクーヘン、うまい棒1箱などのお菓子やお土産など多くの方からのご寄付ありがとうございました。

\*ブルーベリージャム20缶、サツマイモ多数(ブルーベリーハート知多)

\*ひなあられ35袋、アイス2パック(半田市社会福祉協議会)

**<子どもサポート証券ネットによる支援物資>**

・(株)岩井コスモ証券(お米5キロ2袋、レトルト食品等20食) ・(株)岡三証券(お米5キロ4袋)

**皆さんの寄付でのぼす会は成り立っています。ご支援ください。**  
年会費・寄付金の振込先 年会費2,000円 寄付金1口1,000円から

①知多信用金庫 美原支店 口座番号 普通 2102161

名義:特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのぼすネットワーク

②東海労働金庫 半田支店 口座番号 普通 4500549

名義:特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのぼすネットワーク  
代表理事 伊藤 敦

③ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00810-9-154412

加入名:特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

## スタッフ募集!

一緒に学習したり、遊んだりして、寄り添ってくれる人 週に1回でもかまいません。詳しくは下記までご連絡ください。

連絡先 (赤松)

080-1622-5717